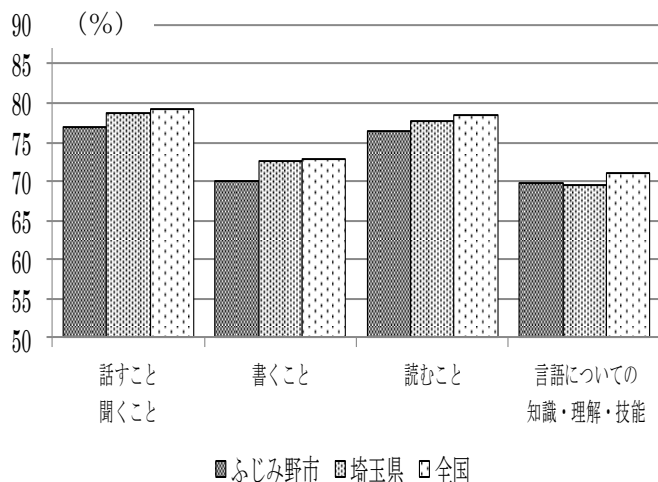


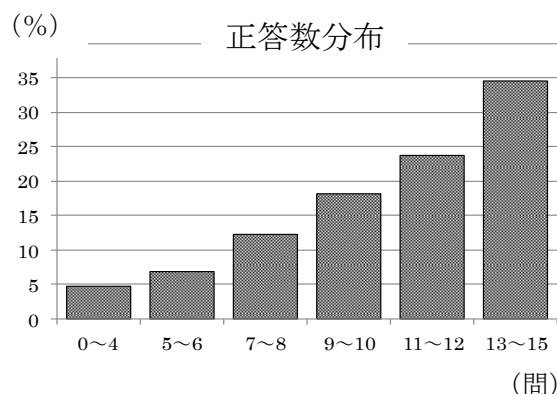
平成28年度 全国学力・学習状況調査結果について（小学校6年生）

国語 「書くこと」「言語についての知識・理解・技能」に課題がある。

国語A（知識）

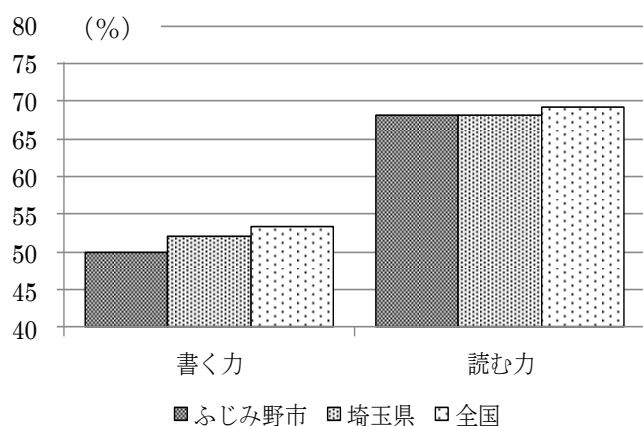


国語A 平均正答率(%)		
ふじみ野市	埼玉県	全国
73.2	74.7	75.4

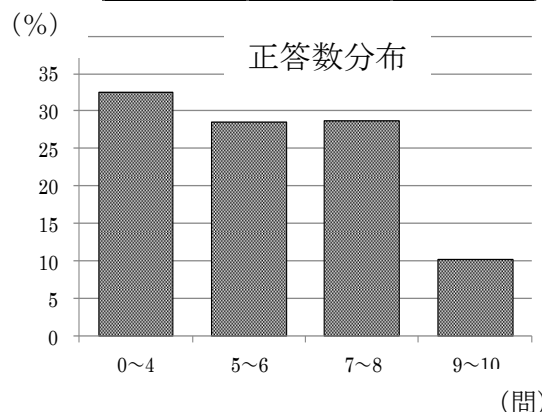


「言語についての知識・理解・技能」の領域で、漢字を正しく書く、平仮名で表記されたものをローマ字で書くことに課題があります。意味を理解しながら覚えるよう辞典を活用したり、実際の生活場面と関連付けながら覚えたりするなど、学習方法の工夫を図ってまいります。

国語B（活用）



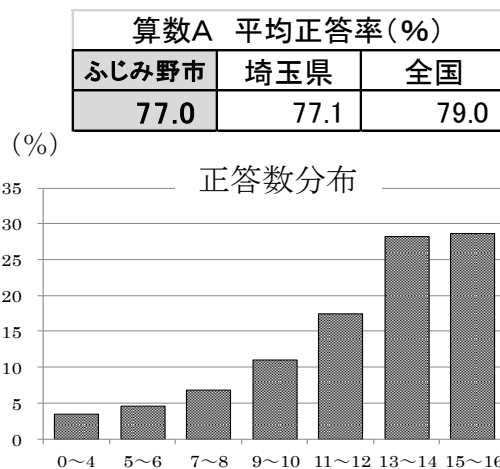
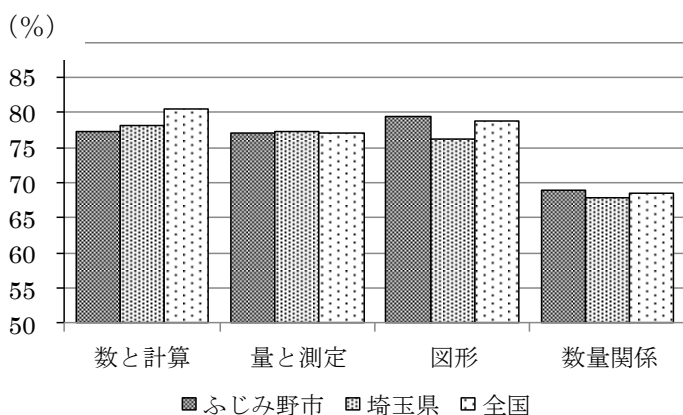
国語B 平均正答率(%)		
ふじみ野市	埼玉県	全国
53.9	55.6	57.1



全国的な傾向と同様に、目的や意図に応じて、自分の考えを書くことに課題が見られました。書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げたり、引用したりして書くことができるよう指導の充実を図ってまいります。

算数 活用する力の向上が課題である。

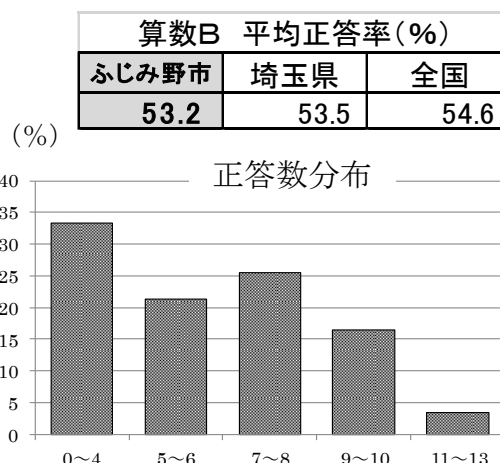
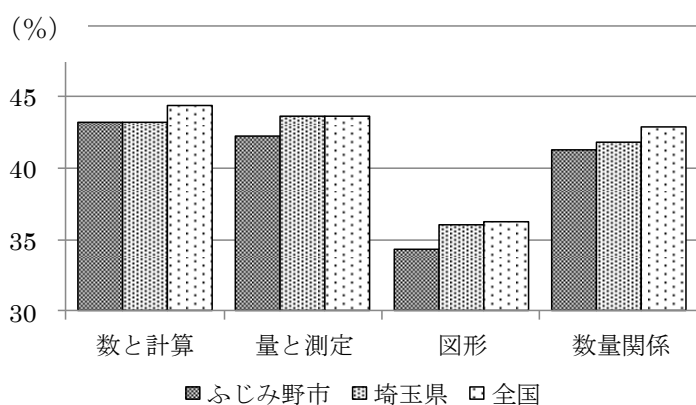
算数A (知識)



(問)

不等号の意味や図形の構成要素を理解して解く問題は正答率が高く、基礎的基本的な知識・理解は身につけています。単位量当たりの大きさを求めるような抽象的な問題を解くことに課題があります。具体的な問題場面を図や表などに整理したり、式の意味を言葉で説明したりするなど、問題解決の段階をスモールステップで進める指導の充実を図ってまいります。

算数B (活用)



(問)

根拠を挙げて説明したり、式の意味を記述したりするなど、学習した事柄を活用する力に課題があります。「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の全ての領域で知識や技能を活用する問題は、全国と同様の傾向が見られます。問題を解決するプロセスを整理して解答を導くために、学んだ知識・技能を活用できる授業を推進してまいります。